




セミナー内容		
第1講座	失敗しないAI外観検査の導入準備とベンダー選定術講座 <ul style="list-style-type: none"> ●外観検査AI導入時に知っておくべきこと ●外観検査AI導入における注意点 ●外観検査AIの選び方 ●外観検査AI導入後の運用Point 	
	株式会社船井総合研究所 シニアコンサルタント 川端 信貴 <small>近畿大学理工学部原子力工学科を卒業後、ソフトウェアハウスに入社。様々な公共系システム開発等を手掛ける。画像処理検査装置メーカー転職後、様々な製造業向けに画像処理検査装置や自動機の設計、開発、導入を手掛ける。その後起業し、動画配信サーバ構築やロボット制御システム、AI画像検査システムの開発、設計、導入等を手掛ける。近年では上記の経験を活かし、製造現場における課題解決やロボットシステム、AIシステムの導入支援を行っている。検査自動化装置の導入実績は延べ1000件以上。</small>	
第2講座	電子部品製造業のAI外観検査導入成功事例講座 <div> <div> 1.光沢のある金属コネクタの検査 2.電子基板の防水コーティング検査 3.樹脂コネクタの過検出防止 4.熟練検査員の官能検査をAIで再現 5.ミニプレーカーの組立検査 </div> <div> 6.スマートフォン向け基板の全数検査 7.チップLEDのボンディング不良検査 8.プリント基板のレジスト不良検査 9.コンデンサの文字(印字)検査 10.フェライトコアの微小な欠け検査 </div> </div>	
	株式会社船井総合研究所 シニアコンサルタント 川端 信貴 <small>大学卒業後、製造メーカーの生産技術関連部署にて12年間従事。生産設備導入を中心に、ロボットシステムの導入を手掛ける。船井総合研究所へ入社後は全国各地の中小製造業向けのロボット活用、DX推進コンサルティングを実施。中小製造業向けのロボット活用及びDX診断を行っておりその数は100社を超える。また、自治体主催のDX人材育成セミナーや大学での中小企業経営論講義などを行う。</small>	
第3講座	【実践】明日から始める、AI外観検査導入プロジェクトの具体的な「設計図」 <ul style="list-style-type: none"> ●ROIを最大化するAI外観検査導入の進め方 ●外観検査工程にAI導入して自動化を成功させるポイント ●経営者・幹部社員のためのAI外観検査活用戦略 	
	株式会社船井総合研究所 DXコンサルティング室 リーダー 徳竹 勇兵 <small>大学卒業後、製造メーカーの生産技術関連部署にて12年間従事。生産設備導入を中心に、ロボットシステムの導入を手掛ける。船井総合研究所へ入社後は全国各地の中小製造業向けのロボット活用、DX推進コンサルティングを実施。中小製造業向けのロボット活用及びDX診断を行っておりその数は100社を超える。また、自治体主催のDX人材育成セミナーや大学での中小企業経営論講義などを行う。</small>	

開催日時	大阪会場 2026年 2月20日金 ※2026年1月1日よりイノゲート大阪(梅田)に移転し開催いたします。ご来場の際はご注意ください。	船井総研グループ大阪本社 サステナグローススクエア OSAKA 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田三丁目2番123号 イノゲート大阪21階 <small>JR大阪駅の直上、西口改札口に直結JR大阪駅の直上、西口改札口に直結</small>
	東京会場 2026年 3月6日金 10:00～12:30(受付開始:開始時刻30分前～)	船井総研グループ 東京本社 サステナグローススクエア TOKYO 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階 <small>JR「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)、東京メトロ丸の内線「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)</small>




諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいいたしかねますので、ご了承ください。

お申込み期日	銀行振込み:開催日6日前まで クレジットカード:開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます。
受講料	<div> <div>一般価格</div> <div>税抜10,000円(税込11,000円)／一名様</div> </div> <div> <div>会員価格</div> <div>税抜8,000円(税込8,800円)／一名様</div> </div> <small>※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧FUNAIメンバーズPlus)へ ご入会中のお客様のお申込みに適用となります。</small>

お申込み方法	
 【QRコードからのお申込み】 右記QRコードからお申込みください。	
 【PCからのお申込み】 https://www.funaisoken.co.jp/seminar/137029 <small>船井総研ホームページ(https://www.funaisoken.co.jp)の右上検索マークから「137029」をご入力し検索ください。</small>	

【お問い合わせ先】船井総研セミナー事務局 **E-mail** seminar271@funaisoken.co.jp **TEL** 0120-964-000(平日9:30～17:30)
※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。 ※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。
【年末年始休業のお知らせ】2025年12月26日正午～2026年1月6日まで
※休業期間中は電話がつかなくなっております。※Webからのお問い合わせは1月7日以降順次ご回答させていただきます。※なお、受講申込はWebより24時間受け付けております。ご不便をお掛け致しますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

AI外観検査を一度断念した電子部品製造業界向け

 ベンダーに任せたら 現場運用 できなかった…	 過検出が多くて 使い物に ならなかった…	 光沢部品の ハレーションで NG多発…
--	--	---

外観検査「再」挑戦セミナー



81の電子部品・検査自動化実績の中から、**厳選した10事例**をご紹介します!

事例1	光沢のある金属コネクタの検査 <small>AI活用で、これまで目視に頼っていた光沢部品の微細な傷を安定検出し、品質保証レベルを向上させた事例</small>
事例2	電子基板の防水コーティング検査 <small>特殊照明とAIを組み合わせ、目視では判別困難だった塗布ムラを正確に検出し、製品信頼性を高めた事例</small>
事例3	熟練検査員の官能検査をAIで再現 <small>傷の形状や深さに応じて合否を判定する高度な検査をAIで自動化し、不要なライン停止を削減した事例</small>

- ☑ **累計120名以上が参加した人気セミナーが今年も開催!**
- ☑ **「ウチの部品は無理…」と諦める前に。**
- ☑ **当日、実際の不良ワークをご持参ください。AIの判定可否をその場で診断します!**
- ☑ **検査自動化20年の経験・累計1,000件以上の導入実績を持つコンサルタントが解説!**



あなたが自動化したい“あの製品”の検査方法がわかる!

主催	電子部品製造業 AI外観検査 導入成功セミナー	お問い合わせNo. S137029	
	 サステナグロースカンパニーをもっと。 Funai Soken	株式会社船井総合研究所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階	

当社ホームページからお申込みいただけます。船井総研ホームページ[\[www.funaisoken.co.jp\]](http://www.funaisoken.co.jp)右上検索マークから「お問い合わせNo.」を入力ください。 **137029**

電子部品製造業 AI外観検査 導入成功セミナー

本セミナーでしか聞けない!実現できた成功事例!

①光沢のある金属コネクタの検査

AI活用で、これまで目視に頼っていた光沢部品の微細な傷を安定検出し、品質保証レベルを向上させた事例

難易度:★★★★★

費用:2,000万円 開発期間:6か月



②電子基板の防水コーティング検査特殊

照明とAIを組み合わせ、目視では判別困難だった塗布ムラを正確に検出し、製品信頼性を高めた事例

難易度:★★★★☆

費用:1,200万円 開発期間:6か月



③樹脂コネクタの過検出防止

従来型の画像検査でNGとされていた製品をAIで再検査し、良品を救済することで歩留まりを大幅に改善した事例

難易度:★★★★☆

費用:1,500万円 開発期間:6か月



④熟練検査員の官能検査をAIで再現

形状や深さに応じて合否を判定する高度な検査をAIで自動化し、不要なライン停止を削減した事例

難易度:★★★★★

費用:2,000万円 開発期間:1年



⑤ミニブレーカーの組立検査

組立工程内の部品位置などを画像処理で高速にチェックし、工程内での不良発生を防止した事例

難易度:★★★★☆

費用:3,600万円 開発期間:3ヵ月



⑥スマートフォン向け基板の全数検査

高速ラインスキャンカメラと画像処理を用い、世界トップレベルの品質が求められる基板の全数検査を実現した事例

難易度:★★★★★

費用:2,000万円 開発期間:1年



⑦チップLEDのボンディング不良検査

顕微鏡レベルでしか確認できない微細な接合不良を高速に全数検出し、流出不良ゼロを達成した事例

難易度:★★★★★

費用:900万円 開発期間:4か月

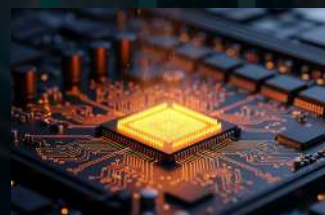


⑧プリント基板のレジスト不良検査

複雑なパターンを持つプリント基板のレジスト(保護膜)の不良を高速で検出し、品質を担保した事例

難易度:★★★★☆

費用:8000万円 開発期間:1年



⑨コンデンサの文字(印字)検査

小さな電子部品に印字された型番などの文字を、OCR技術を用いて正確に読み取り、誤品混入を防止した事例

難易度:★★★★☆

費用:300万円 開発期間:2ヵ月



⑩フェライトコアの微小な欠け検査

磁性材料であるフェライトコアの、目視では見逃しがちな微小な欠けやクラックを自動で検出し、品質を安定させた事例

難易度:★★★★☆

費用:500万円 開発期間:2ヵ月



他のAI外観検査セミナーとの3つの違い

- 1 自社で検査したい製品の検査難易度がわかる
- 2 実績に基づく多数の事例が聞ける!
- 3 自社に適した構想案がもらえる!

本セミナーには、外観検査の自動化に20年以上従事し、1,000案件以上の導入実績を持つコンサルタントが登場します。検査したい製品をお持ちいただければ、その製品の検査可否・難易度をコンサルタントの経験に基づき判断させていただきます。

今回ご紹介する事例は全て、コンサルタント本人が過去に導入した検査装置の事例となっております。

セミナー後日、貴社へご訪問させていただき、貴社に適した検査装置構想案を個別に作成させていただきます。現場のご状況や予算感、実現可能性を鑑み、作成いたします。コンサルタントのフラットな視点から、本当に自社に適した装置構想案を作成します。(※別途費用が発生します)

過去セミナー参加者の声



電子部品製造業 I社 代表取締役

検査のしづらい製品や、多品種小lotだから自動化は無理だと思っていましたが、対象品種の絞り込みをおこなうことで、もっと具体的に把握できるかもしれないと思った。



電子部品製造業 M社 顧問

技術的なお話も多く、分かりやすいご説明もあったのでエンジニアとして勉強になった。カメラの色味、照明の種類、確度が重要であることが知れて良かったです。また補助金申請の参考になるお話もあったのでよかったです。



製紙業 K社 代表取締役社長

自社で外観検査自動化を検討中ですが、計画設計のポイントや実用化のノウハウを学ぶことができました。補助金活用についても検討を加えたいと思いました。



電子部品製造業 R社 製造部長

私自身、全くAIに疎く、興味をもつ第一歩となってよかった。AIと画像処理コントローラーというものがあることも知らなかったので、少しずつ勉強していきます。



電子部品製造業 M社 代表取締役

貴社にてこのような事業をおこなっていることを知りませんでしたが大変参考になりました。実際のサンプルを用いての説明もわかりやすくて良いです。今後も最新の情報を知るために、こういったセミナーを開催していただきたい。



ゴム製造業 A社 本部長代理

AIによる自動検査の切り口に難しさを感じていましたが、本セミナーを受講して具体的な事例を通した課題や説明が多く、アプローチの仕方、ポイントが明確になりました。当社では、小ロット多品種大型製品、比較的回転量が多い小型製品の両方を扱いますが、それぞれに適用できない社内でも協議を進めたいと思います。

日本の製造業では近年、AIによる外観検査の導入が急速に広がっています。熟練検査員の高齢化、人材不足、品質要求の高度化により、「検査をどう自動化するか」が企業競争力を左右する時代となりました。

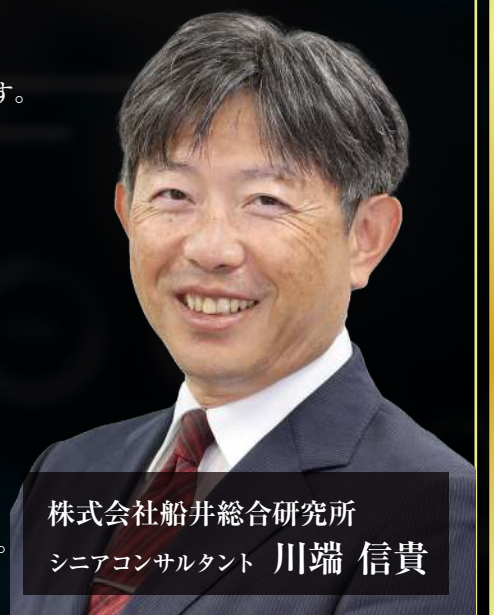
私は、2000年代初頭から自動化・省人化支援に取り組み、近年はAI外観検査を中心に、電子部品・精密機器・樹脂成形など幅広い業界で導入を支援してきました。AIベンダーや検査装置メーカーとの連携も深く、国内でも多数のAI検査導入支援実績を誇ります。

AI外観検査の導入は、カメラや照明を設置するだけでは成果が出ません。画像の収集・学習データの作成・運用設計など、現場と経営の両輪で推進する体制が不可欠です。経営者や工場長がAIの本質を理解できていないと、ベンダー任せの導入となり、結果的に精度やROIが伸び悩むケースも少なくありません。

そんな中でも、AI外観検査を成功させている企業には共通点があります。それは、AIを「現場改善の延長」として位置づけ、検査工程全体を見直していることです。AIと人が協働する仕組みを築くことで、品質・生産性・スピードのすべてを同時に高めています。

そして今、AI外観検査の世界では、生成AIやエッジAIなど新たな技術革新が起きています。この波に乗り遅れず成果を出し続ける企業になるためには、AI導入を「経営課題」として捉える視点が不可欠です。

本セミナーでは、電子部品製造業における成功事例10選とともに、失敗しないAI導入の進め方、そしてAI時代に勝残る検査体制づくりのポイントをお伝えします。“検査の自動化をあきらめない企業”にこそ、ぜひご参加いただきたい内容です。



株式会社船井総合研究所
シニアコンサルタント 川端 信貴

AIの動向や成功事例、ベンダーの選び方、失敗しないためにおさえるべきポイントなど、AI外観検査の概要が幅広くわかるセミナーです!